



新鮮なアスパラガスは収穫時に切り口から水があふれる



自作した給水設備でかん水を行う



高畝栽培で生育管理を行う

Profile

5年前に就農し兼業農家となった。遠野市宮守町で、ハウス10棟約10aでアスパラガスを栽培する。同地域野菜部会アスパラガス専門部に所属。好きな言葉は「挑戦」。



趣味・マイブーム
和太鼓

太鼓演奏団体「和太鼓『和』」の代表を務めています。地域内外のイベントで演奏を披露し、宮守町を盛り上げるために活動しています。

農
追
い
人

GREEN SOLDIERS

きくち じゅん
菊池 淳

遠野市

【コーナータイトルの由来】
「GREEN SOLDIERS」は「グリーンソルジャーズ」と読み、「農追い人」と併せ、「農業に夢や希望を持って働く人」という意味を込めています。若手農業者や新規就農者を紹介しています。

ちょっと
いい話

公演のご依頼お待ちしております

「和太鼓 和(なごみ)」は遠野市宮守町を中心に活動する太鼓演奏集団です。地元の農業者も多数加入し、地域活性化に向けて活動しています。迫力の和太鼓演奏でイベントを盛り上げますので、お気軽にご依頼ください。

ご依頼はこちらまで↓

和太鼓 和(なごみ)

E-mail : wadaiko.nagomi.2022@outlook.jp

Instagram
でも演奏依頼
受付中!



研究重ね最適な栽培環境探る
若き担い手の挑戦

日差しの照りつくビニールハウスの一角で熱心にアスパラガスの生育を確認しているのは、45歳の菊池淳さん。就農して5年目になる兼業農家だ。実家は遠野市青笹町でホップと米の生産を営み、幼い頃から両親の手伝いをしてきたこともあり「農業には馴染みがあった」と語る。高校卒業後は一人暮らしをしながら地元の建設会社で働き、休日には実家の農作業を手伝っていた。転機となったのは、両親が高齢により体力を使うホップ栽培が難しくなり、アスパラガス栽培に切り替えたこと。淳さんは一度植えると10〜15年同じ株を使って栽培ができるアスパラガスに興味を持った。「いろいろなことに挑戦するのが好き」と話す淳さんは、建設業の仕事で培った技術を生かし、自宅近くの敷地にビニールハウスを組み立て、アスパラガス

のハウス栽培に挑戦。かん水に使用する給水装置も手作りした。1年に2棟ずつ規模を広げ、現在ではハウス10棟約10aの圃場でアスパラガスを栽培している。こだわりはネットやYouTubeで調べ、独学で作り上げた高畝。水はけが良く、通気性が確保できるため、病害虫対策と生育促進が期待できること。ハウスの構造にも工夫を凝らしている。さまざまな天井の高さを試し、最適な生育環境を探っている。材料にも通気性に優れたネット状の素材を使用するなど、研究に余念が無い。「みずみずしいアスパラガスを収穫できた時が一番うれしい」と話す淳さん。その喜びが継続する原動力だ。「まだまだ挑戦してみたいことがある。改良を重ね、最適な栽培環境を作り出すことが夢」と語った。その挑戦が地域農業を盛り上げる力となっている。

ほらーの花巻 CONTENTS

02	農追い人 GREEN SOLDIERS	14	旬の産直大百科
04	特集 第28回 通常総代会	15	Smile Report/ほらーの広場
08	新役員紹介	16	グリーンセンター定休日 ●理事会だより・監事会だより/組合長より
10	ほらーのNEWS	17	Information
12	水稲生産者のみなさまへ	20	地産地消料理コンクール入賞レシピ紹介 ●家の光 一7月号の読みどころ
13	ちゃぐりん通信		